

G★U★M★B★O

「第20期を迎えるにあたり」

2020年5月9日

風薫る5月がやってまいりました。新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令され、過去に経験のない不便な生活を強いられていると思います。どのようにお過ごしでしょうか。

例年なら今頃は、ゴールデンウィークや浜松まつりの話題が飛び交っているはずですが、今年は残念ながら「ステイホーム」が合言葉になってしまいました。

令和時代へ移行して新たな年の始まりに、新型コロナウイルスに出鼻をくじかれた形となりました。そのウイルスは年明けから中国で蔓延し、そのウイルスが全世界にひろがり感染を拡大させました。収束の見通しが立たない、まさに人類を脅かす感染症のパンデミックになっております。このパンデミックにより歴史が変わるほどの影響もすでに出てきております。今年開催予定であった2020東京オリンピックが延期となり、さまざまな大規模イベントが続々と中止に追い込まれております。日本全域では緊急事態宣言により小・中・高の学校では休校措置がとられました。一部の企業では休業の要請が、個人には不要不急の外出自粛要請まで出ることになり、世界経済がリーマンショックを超える大損失となりそうな状況です。

このような時こそ「今できること」を実行するべきだと考えます。それは、一人一人の自覚と行動、助け合いの精神が大切になってくると思います。そして、だからこそ普段見えない内側に目を向けて、普段の生活、身の回りのこと、自分のこと、家族のこと、仲間のことを考え、今の時間を大切にして頂きたいと思います。みなさんで一致団結して乗り越えていきましょう！そして周囲の大切な人、社会を守りましょう！

最後に我が社です。受注テーマの中止、延期、予算削減等の厳しい状況にはなっておりますが、海外案件については引き続きプロジェクトを進めるとの情報もあります。国内では新たなエンジンの生産設備を導入する計画があります。決して来期に向けて暗いニュースばかりではありません。まずはご安心ください。今期の成績につきましては予想を多少下回りましたが無事に乗り切ることが出来そうです。また来期は新型コロナウイルスの影響で大変な期となりそうですが、好成绩を出せるよう邁進する所存でございます。

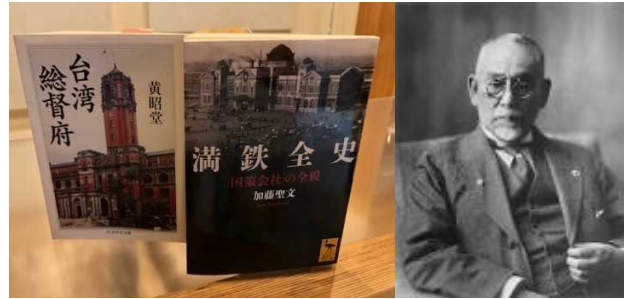
今後とも、旧に倍するご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 谷野秀樹



歴史の一コマ(記者:藤田泰)

現在、新型コロナウイルスの感染防止が大きな社会問題となっている。今回は後藤新平(1857年-1829年)という人物に注目してみる。後藤は逆賊の子弟(仙台藩)として生まれ苦学の後、ドイツに留学した。脚光を浴びたのは今から



100年以上前の明治28年(1895年)、日清戦争終結に伴い680隻以上の船舶で大陸から帰還する将兵23万人に未曾有の大検疫を実施して、一切の伝染病を日本に持ち込ませなかった時である。結果として、患者が乗っていた船は258隻、真性コレラの患者は369人、疑似コレラは313人、腸チフス126人であった。また、広島・宇品港似島(似島検疫所)の施設、総建坪数22,660坪、401棟の検疫所はわずか2か月で完成させたものであった。また、世界最新鋭の煮沸装置を含む医療機器はドイツから緊急輸入したものであった。これは全世界が注目した快挙であった。

この活躍を時の児玉源太郎陸軍次官が高く評価して、後の台湾総督(児玉)と総督府民生長官(後藤)が誕生、植民地の衛生改善と経営に力を発揮した。このコンビが満州鉄道設立に絡んで、という歴史の一コマ。また、都市計画の第一人者でもあり、関東大震災で壊滅した東京の現在にいたる基本デザインを策定したのは後藤であった。他方、この剛腕さと大風呂敷により毀誉褒貶が激しいのも事実である。

昨今、非植民地であった台湾の人たちから「今、日本に必要なのは後藤先生ですね」などと言われるのは、まことに持って強烈な皮肉以外の何物でもない。

今…(記者:吉野)

現在、日本国内及び全世界でコロナの話題がつきませんが、感染者の減少により、国民の緊張が薄くなり、なにか第二波が心配されています。

私は今、ホンダ鈴鹿にて出張工事作業を行っています。気温も上昇してきて、マスクをしての作業がかなり体力を消耗させてくれます。今回の、社内報は、コロナの話題で埋まると思いながらも、休日は、外出できない事もあり、やはりこの話題しか書くことができませんでした。鈴鹿でも飲食店が徐々に店を開始し始め、活気が蘇ってきてる感じがします。

まだまだ、危険な日々が続きますが、気を緩めずに生活をしましょう。それにしても、現在、宿泊させて頂いているアパホテルの社長はインパクトありありです。

気になった事(記者:杉浦)

皆様、如何お過ごしでしょうか…。やっぱりコロナウイルス関連ですね。治療薬について、レムデシビル(重症患者への使用特例承認、副作用:急性腎障害、肝機能障害)、アビガン(肺炎症状患者への臨床試験中、副作用:動物実験にて催奇形性有り)、イベルメクチン(初期症状患者への臨床試験中、副作用:アフリカ、中南米、アラビア半島にて河川盲目症の治療薬として使用され副作用は極めて少ないと報告されている)他、フサン、オルベスコ、フオイパンなどがあります。症状に急変については、新型コロナウイルスの症状が進行すると、細胞への命令伝達物質サイトカインが血中に大量分泌さ、サイトカインストームが発生します。それにより体に発熱、倦怠感と血液の凝固異常が起き血栓ができます。また、新型コロナウイルス自体が血管のACE2受容体を攻撃し、結果血栓ができます。二重の作用での血栓形成により、血管が詰まり危篤的な症状へと急変することが分かってきました。サイトカインストームを抑える免疫抑制療法、血栓形成を抑える抗血栓薬など対応方法もあり検証が進められているとのことです。アメリカではワクチンの試験も始められており、治療薬、治療方法の確立、ワクチンと日々進歩しており期待がもてますね。

治療の前に、まず罹らないことが第一です。マスク、手洗い、消毒、三密回避とまだしばらく続きますので、気を緩めず頑張りましょう。それでは皆様ごきげんよ〜^^/シ